

授業科目	インバウンド観光論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21115J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-3 DP1-4 DP3-1 DP4-1			
担当教員	劉 明							
授業概要	訪日客の増加は日本にどう影響を与え、今後どのような動きをみせるのか注目されている。「インバウンド観光論」では、日本における観光立国、ビジット・ジャパン・キャンペーン等について論じ、観光マーケティング及びホスピタリティの視点から、日本や九州におけるインバウンド観光の振興にとっては、重要なターゲットとなるアジア、オセアニア、北米、欧州の国・地域からの訪日観光客の誘致を事例に講義する。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。また、授業の内容と関係あるビデオの活用・映像教育も図る。							
学生が達成すべき行動目標	1.観光立国の意味を理解することができる。 2.訪日マーケットの現状と展望を把握することができる。 3.観光マーケティングとホスピタリティの概念や定義を理解することができる。 4.インバウンド観光の知識を身につけることができる。 5.九州におけるインバウンド観光のあり方を理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)			15		10	5	30	
知識・理解 (DP1-4)			10		5	5	20	
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			15		10	5	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10		5	5	20	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
示されている5つの到達目標を達成することができると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワーク及び観光産業界への就活に反映させることができる。				示されている5つの到達目標を達成するすることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション			講義		該当部分の復習		30

	シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。			
2	テーマ:九州及び日本における観光立国 ビジット・ジャパン・キャンペーン&観光立国について (外部講師による講義)	講義	該当部分の復習	60
3	テーマ:東アジアの訪日旅行の動向① 中国	講義	該当部分の復習	60
4	テーマ:東アジアの訪日旅行の動向② 台湾	講義	該当部分の復習	60
5	テーマ:東アジアの訪日旅行の動向③ 韓国	講義	該当部分の復習	60
6	テーマ:東アジアの訪日旅行の動向④ 香港	講義	該当部分の復習	60
7	テーマ:東南アジアの訪日旅行の動向① タイ、ベトナム、インドネシア	講義	該当部分の復習	60
8	テーマ:東南アジアの訪日旅行の動向② マレーシア、シンガポール	講義	該当部分の復習	60
9	テーマ:オセアニアの訪日旅行の動向 豪州	講義	該当部分の復習	60
10	テーマ:北米の訪日旅行の動向 米国、カナダ	講義	該当部分の復習	60
11	テーマ:欧州の訪日旅行の動向 英国、フランス、ドイツ、ロシア、 イタリア、 スペイン	講義	該当部分の復習	60
12	テーマ:課題と解決策① 訪日旅行の不満点	講義	該当部分の復習	60
13	テーマ:課題と解決策② 接遇に関する注意点	講義	該当部分の復習	60
14	テーマ:課題と解決策③ インバウンド観光対応型人材の育成	講義	該当部分の復習	60
15	テーマ:「インバウンド観光論」のまとめ 本講義「インバウンド観光論」で扱った内容を振り返り、総括する。	講義	総復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「インバウンド観光論」を学ぶ意義を理解しておくこと。			
テキスト	資料配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『インバウンド概論』(株)JTB能力開発 『訪日旅行市場におけるディスティネーション・マーケティング研究』劉明 著 くんぷる出版 『地域観光マーケティング戦略構築のあり方 -九州のインバウンド観光を事例として』劉明 著 くんぷる出版 日本政府観光局のHP			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②海外へ留学・旅に行くこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。 ⑤インバウンド観光研修に参加すること。			
達成度評価に関するコメント	達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけでなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。			

